

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京工芸大学	整理番号	H - 1
拠点のプログラム名称	都市・建築物へのウインド・イフェクト		
中核となる専攻等名	工学研究科建築学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 田村 幸雄 外6名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は「風工学研究センター」を中核として形成され、世界の自然災害による経済的損失の85%を占める都市や建築物の強風災害から、通風・換気の問題、汚染物拡散など、気流と都市・建築物に関わるウインドイフェクトについての研究・教育を行う。設計風速評価法、合理的耐風設計法、強風時の建物健全性モニタリング、都市建物群防災システム、自然通風エネルギーの高度利用のための通風設計法、環境負荷の少ないサステナブル社会の実現、シックハウスや人体周り空気環境問題、建物近傍汚染物排出問題、都市域での空気汚染問題等に取り組む。台風等による人的物的被害が多発し、空気汚染問題も深刻な発展途上国の多いアジア地域での、本拠点の重要性は極めて高い。強風災害の低減や環境保全問題の解決に寄与するとともに、世界的水準の研究機関との共同研究の推進、「APEC諸国強風防災センター」および「風工学情報技術室」の設置や、「APEC風研究者ネットワーク」の構築等を通じて、風工学の教育普及活動と国際的情報発信が積極的に展開される。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>規模の小さい大学でありながら、風工学に特化した国際的にも知られた研究拠点を形成し、大きな実績をあげていると認められる。APEC諸国強風防災センターを設置し、アジア・パシフィック地域における災害低減に寄与する計画も評価される。建築物における自然（通風）換気、室内微気流・空気汚染問題についての研究の進展にも期待がもたれる。さらに、研究者の充実、博士後期課程学生の採用と教育の充実をはかり、世界的な研究拠点となることを期待する。</p>			